

しがのふるさと支え合い プロジェクト

滋賀県農政水産部農村振興課

1. 中山間地域現状調査 (H28~H29)

中山間地域の役割

○本県における中山間地域は 県土の約5割を占めており、水源涵養、洪水の防止、土壌の浸食や崩壊の防止、良好な景観の保全、保健休養の場の提供、生き物のすみかになる機能などの多面的機能によって、都市住民を含む多くの県民の財産、豊かな暮らしを守っている

現状・課題

○県内の中山間地域は人口減少、高齢化の進行、担い手不足により集落機能の低下、多面的機能の維持が困難になってきている
○それぞれの地域には地域の実情、課題、地域性等があり、地域ごとに必要な対策は何かを把握することが重要



調査・内容

中山間地域の現状を把握し、多面的機能を維持するためには何が必要か、地域住民へのアンケート・ヒアリング調査及び専門家の目で地域を歩き、よりきめ細やかな対策のアドバイスを得ることで、中山間地域の多面的機能の維持方法の検討を行う

【調査(委託)内容】<H28~H29>

- ・中山間地域アンケート・ヒアリング調査 (36集落:H28 24集落、H29 12集落)
- ・専門家との現地調査、助言(6集落:3×2)

対策の検討

- 世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策、中山間地域等直接支払、鳥獣被害防止総合対策交付金、棚田ボランティア制度のより効果的な活用
- 非農家、NPOなどの多様な主体が参加し、共同で農地や施設を保全
- 耕作放棄地の林地化、湿地化
- 高付加価値農産物への転換、担い手による特産物の栽培
- 放牧による獣害対策、動物とのふれあい

アンケート調査実施集落の維持管理計画は、次年度以降にふるさと水と土保全対策推進懇話会で地域住民と専門家で検討を実施

都市・農村交流の推進

- 都市農村共生・対流総合交付金などの活用
- ・地域散策ウォーキング
- ・家庭料理自慢から農家レストランへ発展
- ・縁がわカフェ
- ・下流住民との交流
- 都市部への情報発信
- ・SNS等による情報発信

地域内経済循環の仕組みづくり

- 農山漁村振興支援交付金、森林・山村多面的機能発揮対策交付金、小水力等再生可能エネルギー導入推進事業、6次産業化支援対策などの活用
- ・空き家、廃校を合わせ技で複合施設として活用
- ・地域資源を活用した6次産業化と交流
- ・再生可能エネルギーの活用
- ・福祉、介護事業との連携
- ・歴史、伝統文化等の保存と継承

リーダー、後継者等の育成

- ふるさと指導員などの活用
- ・県、市などのOBの活用
- ・人材登録バンク制の活用
- ・高齢者と子どもの世代間交流
- ・多様な主体の参画(女性、若者、新規移住者)の活用

調査の結果から導かれる新たな施策

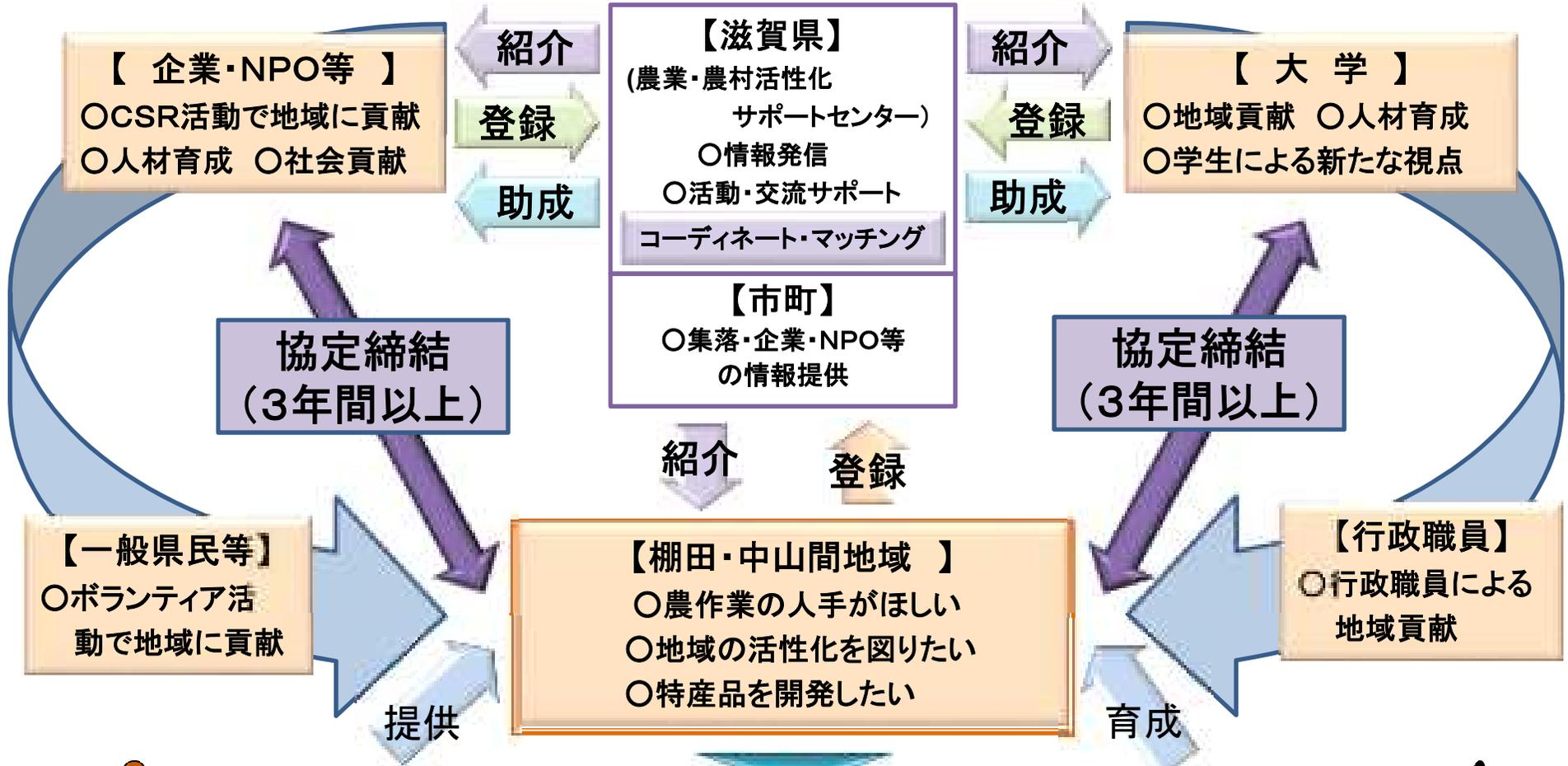
- 少子、高齢化の進行による人手不足
- 担い手や農業後継者の人材不足、共同活動の縮小
- 野生獣の被害・交通手段の確保・耕作放棄地対策
- リーダー・サポーターの育成、女子力の活用
- まるごと・中山間直払の活用、多面的機能に対する理解



集落と多様な主体（企業・大学・NPO等）が協働し、それぞれが有する知恵や資源、ネットワーク等の力を発揮できる体制の構築を図る

しがのふるさと支え合いプロジェクト

①中山間ふるさと農村支え合い事業



資源活用マニュアル

③しがのふるさと活かづくり支援事業

- I 計画策定支援
- II 実践集落支援

②地元活性化リーダー育成事業



①中山間ふるさと農村支え合い事業

- I 企業、大学等と集落のマッチング・支援体制整備・活動補助・資源活用マニュアル作成・情報発信等
4,600千円(国費3,000千円)

中山間地域の農業・農村の課題に対し、集落と多様な主体が協働し、それぞれが有する知恵や資源、ネットワーク等の力を発揮できる体制の整備を行うことにより、コミュニティの維持・活性化の取組を進める



集落や企業、大学等のニーズの把握



マッチングの検討



情報発信

II 企業・大学・NPO等支援

100千円×6地区

多面的機能の維持・保全や集落の活性化への取組を進めるため、3年以上継続して集落と協働活動を行う企業や大学、NPO等に対し、補助を行う



農地・農業用施設の維持保全活動への支援



イベントの企画・運営支援

②地元活性化リーダー育成事業

6地区

6地区(1,600千円(国費))

集落や地域を牽引するリーダーやサポーターの育成を図るため、地域の現状分析手法や話し合いの進め方およびビジョンの作成、実践方法ならびに先進地事例などの研修会を開催する



集落の話し合い研修



優良事例・先進地事例の紹介



③しがのふるさと活力づくり支援事業

I 計画策定支援(まるごと・中山間直払未実施集落対象)

150千円×6地区

まるごと・中山間直払に取組のない集落に対し、コミュニティの維持・活性化に向けた話し合い、リーダーの育成、活性化計画の作成に補助を行う



話し合い



先進地視察



活性化計画の作成
(ワークショップ)

II 実践集落支援

200千円×6地区

活性化計画作成済み集落に対し、計画の実践または多様な主体と連携し、活性化を図る取組に対して補助を行う



伝統食を活かした料理の開発・イベントの開催



NPOとの協働による収穫祭の開催

①中山間ふるさとと農村支え合い事業

Ⅱ 企業・大学・NPO等支援

100千円×6地区

**長浜市余呉町
池原集落**



**滋賀文教
短期大学**



平成30年7月14日(土)

- ・予定は7月7日(土)であったが、台風により中止
- ・急遽、次週の開催となったが、学生8名・講師1名が参加
- ・学生の所属は国文学科
- ・事前に草刈機の講習会を実施

(6月19日:湖北田園振興課)

・当日のスケジュール

午前 棚田の草刈り

昼食 地元のそば道場でそば打ち体験(昼食)

午後 地元の方々と意見交換

草刈



蕎麦打ち体験



意見交換会



学生の意見

- 参加してよかった
- 4月から就職。良い経験になった。以前は草刈をしている両親の苦労がわからなかったが、体験してたいへんさがわかった。家族にも伝えたい
- みなさん優しかった

地元の意見

- 若い人が来てくれると元気が出る。張り合いがある
- 地域の若い女性は草刈機を使わない。お父さんまかせである
- 地域に関心を持ってほしい
- 今後も続けていきたい

外部からの視点

気づき

ボランティア活動による社会貢献

- 様々な人々とディスカッションにて、周囲に合わせた貢献の仕方を理解し、協調性を身に付ける
- 与えられた条件の中で結論を導き出すためのプロセス(経緯)の重要性を理解する
- 主体性を持って周囲とコミュニケーションを図りながら、与えられた役割に責任を持って取り組むことができる
- 留学生と協働しコミュニケーションを図ることで、異なる文化や価値観などを理解するとともに、自国のことについても発信できる
- 留学生との異文化交流や様々な学生と協働することで、多様性の中で自己の長所を再発見できる



H30.6.19 草刈機の講習会



H30.7.24 ボランティア活動の振り返り

協働活動実施予定(1)

甲賀市土山町
山女原集落



トヨタ紡織
滋賀株式会社



棚田の保全

- ・ひまわりの種まき
- ・くるみ植栽地の草刈り
- ・カブトムシの里の運営手伝い等

協働活動実施予定(2)

**百済寺ブランド
認証協議会**



龍谷大学



- ・百済寺ブランドの認証と推進
 に関すること
- ・百済寺地域の都市農村交流
 活動に関すること

登録済み集落

- ・栗東市走井
- ・高島市鵜川

多様な主体の登録に向けた活動

- ・個別訪問等による事業説明
- ・フォーラム等の機会を利用した個別の事業説明
 - * この夏・びわ活発表会
 - * しがのスマート農業推進フォーラム
 - * しがぎんエコビジネスマッチングフェア
 - * 健康しが日本一フェスタ、共創会議

課題 ・ 今後の活動

- ◆ **事業への登録促進** → ・協働・連携による活性化事例の周知
 - ・企業等への説明 (SDGsとしての取組)
 - ・企業ニーズの把握・効果的な広報 (委託)
 - ・地元活性化リーダー育成事業等研修会等の活用
 - ・連合自治会等へのアプローチ
- ◆ **本事業の認知度アップ** → 効果的なPR (事業パンフレット)
- ◆ **地域資源の活用** → 地域資源活用マニュアル作成 (委託)
- ＜企業＞ ・関係課との連携による新たな活動 (琵琶湖森林づくりパートナー協定参加企業等)
 - ・包括連携企業へのアプローチ
- ＜大学＞ ・授業カリキュラムの一環としての活動 (位置づけ)
- ＜集落＞ ・販路の拡大・マーケティング (地域資源の活用)
 - ・パートナー企業等のニーズへの対応